

亀山通信 第36号

発行者：浜田高校通信制課程

住所：浜田市黒川町 3749

TEL：0855-22-0187 FAX：0855-22-2549



平成29年度（第6期）島根県立浜田高等学校通信制課程
卒業記念 平成30年3月2日

平成30年3月2日(金)、第69回卒業証書授与式が厳粛かつ盛大に挙行されました。全日制197名、定時制9名、通信制28名の卒業生が卒業証書を受け取り巣立って行きました。

通信制卒業生の28名の皆さんおめでとうございます。自学自習が基本の通信制で学習することは決して易しいことではなかったと思います。また、学業と仕事を両立させて頑張った人もたくさんいます。皆さんの頑張りを見てきた私たち教職員も、この日を迎えることができたことをとてもうれしく思います。これからも山あり谷ありの人生だと思いますが、通信制で過ごした3年間の糧に人生を切り拓いてください。

第36号の主な内容

- ◎校長式辞・・・[2]・[3]
- ◎卒業生代表答辞・・・[4]・[5]
- ◎卒業生授賞式・・・[6]
- ◎第2回生徒総会・在校生授賞式・・・[7]
- ◎冬季集団研修・・・[8]
- ◎テーブルマナー講習会・・・[9]
- ◎保健だより・・・[10]
- ◎進路部・教務部より・・・[11]
- ◎教頭より・・・[12]



田高校の歴史と伝統を受け継ぎ、国内、国外様々な場所や様々な職業で活躍する人材、地域の未来を担う人材としての期待に応え、誠実に努力を続けてきた皆さんを誇りに思い、そして期待をしています。

ここで、新たな環境に向けてスタートを切る皆さんに、次のことを伝えたいと思います。

これから皆さんは、進学や就職をして新しい一歩を踏み出すこととなります。高校時代に学んだこと以上に色々なことを学び、新しい物をつくっていく場面に出会うと思います。そんなときに、ジグソーパズルをつくるのではなく、レゴブロックをつくるつもりでこれから様々なことに取り組んでほしいと思います。最近私はこのたとえで、新しい時代が求めているもの話をしていきます。ジグソーパズルは、決まった枠の中に、自分の知識と判断力を使ってピースをはめ込んで完成させます。これまでの社会は、自分の持っている知識をいかに適切に使っていくかが重要でした。しかし、これからの時代は、それぞれがもっている力で新しいものをどんどん創造していくことが求められるのです。レゴブロックは、自由な発想のもとでいろいろなものを創ることができます。若い、自由な発想を最大限に活かしながら、新しい時代に向かって創造的な活動をどんどん行ってほしい

と思います。

その時助けとなるのは、「自ら進んで学ぶこと」です。進学にしても、就職にしてもこれから君たちが進もうとしている社会では、教えてもらうことは限られています。その中で、自らの目標を達成したり、周囲の期待に応えるためには、待っているは何も得るものではありません。自分で積極的に求めていかなければなりません。これまで学校において、先生の教える範囲の中で知識を増やして来ましたが、学校という枠の中で決まったものを吸収し、それをうまく当てはめていくことを学ぶ期間でした。しかし、これからは、教科書にならぬものがたくさんあります。周囲のあらゆるものから学び取り、知識や経験を積み上げて、新しいものを創造していくことが求められます。学びそして創る力が大切になってきます。これからの社会が求める力である創造力をめいっぱい発揮して、新しいものを創造し、君たちの今後の目標を達成してほしいと思います。ぜひ頑張ってください。

4月から、皆さんは新しい学びのなかで知識や技能を修得したり、実社会のなかでそれぞれが持つ知識や技能を活用していきます。人生の新たなステージで、高校時代に抱いた「夢」や「想い」を、信念と努力に裏打ちされた「志」に進化させ、花開かせていくことを私は願っています。そして、

もしも人生の苦難に直面するときがあったなら、その時に浜田高校の校歌を思い起こし、元氣を出して、勇氣を奮って、自らの「志」を果たすよう、頑張ってください。

旅立ちの時が来しました。最後になりましたが、「二三四名の卒業生一人ひとりの未来に大いなる幸あれ」と心より祈り、式辞といたします。

平成三十年三月二日

島根県立浜田高等学校校長

今井 靖



校長式辞

弥生の月の訪れとともに、凜と張り詰めた空気の中にも、ほのかな春の訪れを感じる頃となりました。

本日、平成二十九年第六十九回島根県立浜田高等学校卒業証書授与式を挙行するに当たり、ご多用の中、全日制PTA会長 久保田 英治 様、定時制・通信制PTA会長 河崎 貴義 様をはじめ多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、式を執り行うことができますこと、高い所からではありませんが、卒業生並びに本校教職員を代表して、こころよりお礼を申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとございます。お子様にとって高校生活は、社会の一員となるために必要な経験を積み重ねる成長の期間でした。お子様が勉強や部活動、友だちとの関係などで悩んだ時に、適切な助言と支援をされるなど、多くのご苦勞があったことと推察いたします。そのような中、浜田高校の教育活動にご理解、ご協力をいただきましたことを深く感謝しております。本当にありがとうございます。

さて、ただいま卒業証書を授与しました二三四名の卒業生の皆さん、卒業おめでとございます。

浜田高校で過ごした年月は、各課程或いは個人によって様々ですが、一人ひとりにとってかけがえない、また思い出深い年月であったと思います。

定時制課程を卒業する九名の皆さんは、定時制・通信制校舎から巣立つ卒業生として、六代目になります。あの学び舎で高校生活を送りながら、一方で仕事を通じて時には社会の厳しさに直面しながらも、向学心を持ち続け卒業を目指して頑張ってきました。定時制の仲間や先生方の励ましのおかげで、高校を卒業するという目標を立派に果たした皆さん、本当によく頑張りました。「学ぶこと」の大切さを様々な人との出会いの中で肌で感じ、「学ぶこと」の楽しさを学校に登校し、友達や先生との出会いの中で感じながら、明るく元気に高校生活を送った皆さんの人知れぬ努力に対して、心より拍手を送りたいと思います。

開設六年目となる通信制課程を卒業する二十八名の皆さんも、自らの力で学んでいくという通信制の「学び」を理解し、本校や大田、益田でのスクーリング、レポートの提出、そして前期・後期制による試験と、ハードルを一つ一つ自らの力で乗り越え、本日を迎えられました。学業と仕事や家事・育児の両立をしなければならぬなかで、「高校を卒業する」という目標に向かって、自ら努力し、先生方の支援をうけ、そして家族の励ましに

より、高校卒業に必要な単位を修得されました。いろいろな不安や悩み、そして苦勞があるなかで、通信制での学び直しを決意して浜田高校に入学し、決して楽ではない道を着実に歩みを進め、卒業の時を迎えた皆さんに対して、心より拍手を送りたいと思います。本当によく頑張りました。改めてその努力に敬意を表します。

全日制課程を卒業する百九十七名の皆さんは、「高い理想、誠実な努力」の教育目標の下、一人ひとりが勉強と部活動の両立を成し遂げるために、努力を重ねてきました。毎日の授業で身につけていく学問の深遠さ、部活動をやりきるなかで体感した日々の精進の大切さと勝負の厳しき、学園祭など学校行事やホームルーム活動で身に付けた協調性やリーダーシップの大切さなど、様々なことに挑戦し、そして学んだ3年間の高校生活であったと思います。皆さんは、高校と上級学校との接続について改革が進む過渡期にいます。その一つ、学びの方法について、大きな変革が始まり、「主体的な学び」を求められるようになっていきます。進学した先では、自らがどう主体的に学ぶか、他者との対話を通してどう学びかが求められるようになります。高校時代の学びを發展させ、何事にも積極的に取り組むアクティブな姿勢をこれから持つてほしいと思います。百二十五年にわたる浜

学校で学ぶ目的を見失いそうになったそんな時、付き合いを続けていた全日制の友達が「一緒に卒業しようよ。」と励ましてくれました。その言葉が支えとなり、それからはアルバイトのわずかな空き時間や休憩時間を使って勉強を進めるように、意識しました。

そして今日、卒業の日を迎えました。私は四月から美容関係の専門学校に進学します。全日制の時は、なんとなく大学に進学して：と考えていましたが、通信を卒業するにあたって、幼いころから好きで興味を持ち続けてきた美容関係に進むのが、一番私らしいと考え、この進路を選びました。自分の学んだことや身に着けた技術で人に幸せを感じてもらえるようになりたからです。人に幸せを感じてもらうことで自分自身も幸せになれ、さらにレベルアップしたいという意欲を掻き立てられる、将来はそんな職業に就きたいと思っています。

私はこのもがいた経験から、山頂を目指す登山ルートがいろいろあるように、人の歩む道筋もいろいろで、自分に合った行き方を選べばいいのだと思えるようになりました。そして自分なりの生き方を見つけ、幸せになればいいのだと。通信制を卒業する生徒は、そ

れぞれが大きな困難を抱え、それを乗り越え、今日の日を迎えています。私たちは将来、「この苦しい高校時代があったからこそ今の私がある」と言える人生を自信をもって歩みたいと思います。

高校生活の中で、もがいたからこそ知ることのできた私たちを支えてくれた大切な人たちの存在。そして何よりも困難な日々を乗り越えた一人ひとりの中にある確かな強さを信じています。私たち卒業生が進む道には違いはありますが、それぞれがこの高校生活を誇り思い生きていこうと思います。

最後になりましたが、今日まで私たちを支えて励まして下さった先生方、家族や友人たち、すべての方々に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。大きな変化が予想される社会の中に船出する私たちのこれからを、どうぞふるさとで見守っていただきます。

私たちを育んでくれた母校浜田高校の限りない発展と皆様のご多幸を心よりお祈りし、答辞といたします。

平成三十年三月二日

通信制課程卒業生代表 中谷 芽生



答 辞

厳しかった寒さもようやく和らぎ、桜の蕾も膨らみ始めています。春の訪れを感じるこの良き日、私たちは卒業を迎えました。思い返せば、私が浜田高校で過ごした三年間は必死にもがき続けた三年間でした。しかし、その苦しさの中にも光を見つけ、今となってはかけがえのない大切な経験をした三年間であったと感じています。

三年前の春、私は緊張感が漲ったこの体育館で浜田高校全日制課程の生徒として入学しました。新しい制服に身を包み、これから始まる高校生活に不安と期待で胸がいっぱいだったことをよく覚えています。そして、始まった全日制での高校生活は、とても充実した日々でした。クラスでは仲の良い友達ができ、部活動でも切磋琢磨する仲間ができました。このように順調に始まった私の高校生活でしたが、体調を崩したことをきっかけに、数日学校を欠席することがありました。体調が回復し徐々に登校すると、当たり前前のことではありませんが、勉強も部活もずっと先に進んで

いました。はじめは遅れてでもついていこうともがいていた私ですが、ある日緊張の糸がプツンと切れてしまい、頑張り続けることができなくなってしまいました。その後、学校を休みがちになった私は、自分自身の未熟さに直面しました。その辛さから逃れようと両親に八つ当たりしたこともあります。そのうちに、こんなに苦しいのならばいっそのこと学校なんて辞めてしまえばいい、そう考えるようになりました。

しかし、そんな私のことを気にかけて、言葉をかけてくれる友達や、私の将来を親身になって考えて下さった担任の先生など、応援してくれる沢山の存在がありました。その支えのおかげで、一度は全てを投げ出してしまおうと思った私でしたが、通信制課程に転籍し、通信で学び続けることに決めました。

通信制は毎日学校に通うのではなく、生徒一人ひとりが計画を立て、自分のペースで学習を進めていく、自学自習が基本の課程です。週に二日スクーリングという授業を受けに登校し、普段は自宅で自分の力でレポートを進めなければなりません。常に一人で進める学習は、わからない箇所があってもすぐに友達や先生に尋ねることができません。これまで

人に頼ってばかりだった私にとって、通信制での学習は容易ではありませんでした。

一方、私は転籍をきっかけに、アルバイトを始めました。アルバイトは接客業でしたので、あいさつや言葉遣いなど社会人としての基本から業務の細かい内容まで、覚えなければいけないことややらなければならぬことがたくさんありました。慣れないことばかりで、仕事が終わる頃にはくたくたになってしまふ毎日でした。しかしその中で、働くことの厳しさや、責任などを身をもって学ぶことができました。接客の中でお客様の笑顔を見ることができた時や、お客様から感謝の言葉をいただいた時など、大きな喜びややりがいを感じるようになりました。週三日だったアルバイトは徐々に増えていき、気が付くと週五日アルバイトに通うようになっていました。

次第に生活の中心をアルバイトが占めるようになってくると、ただでさえ苦戦していた通信制での学習が、ますます困難になっていきました。そして私の弱さから、アルバイトを通して得ることのできる充実感を第一に考えてしまい、通信は、何年かけても卒業さえできればいいと、安易に考えるようになりました。

卒業生授賞式



卒業生受賞者一覧

賞名称		受賞者
全国高等学校 定通教育振興会	修学優秀者	松下 由香
	修学優秀者	北山 礼奈
全国高等学校通信制 教育研究会	優秀者賞	梶目 侑花、大埜 龍汰
島根県高等学校 定通教育振興会	優秀者賞	田平 惇子、永尾 舞如
亀山賞	資格取得の部	宮川 春香
	検定合格の部	中谷 芽生、大賀 世菜
	継続就労の部	長谷田 広美、鷹田 流星、西田 涼 福田 昌也、田平 惇子、北山 礼奈 梶目 侑花、飛田 凧紗、岡田 真希 宮川 春香、中谷 芽生、永尾 舞如 但馬 将平
太田・吉田奨学会卒業記念品贈呈		代表 但馬 将平
生徒会卒業記念品贈呈		代表 砂田 みちる

第2回生徒総会・在校生授賞式

2月20日（火）、第2回生徒総会と、在校生の授賞式を行いました。

生徒総会では、新旧役員交代と、年間の生徒会活動や行事のふり返りをしました。

後期試験が終わってからの実施にも関わらず、平成29年度の役員3名が当日を含め、事前の打ち合わせに3度にわたって来校し、準備をしました。過去に例がないほどの頑張りを見せてくれました。

平成30年度の生徒会選挙の結果、下の課程代表・議長が確定しました。2名とも平成29年度からの引き続きになりますが、29年度以上の活躍をしてくれると思います。その他の役員については、現在募集中です。生徒会活動に興味のある生徒の皆さん、ぜひ、課程代表や教員に声をかけて下さい。

平成30年度 新「課程代表」	平成30年度 新「議長」
飛田 駿也	土田 忠司

在校生の「亀山賞」の授賞式では、授与がを行われました。

受賞者は下のとおりです。

なお、卒業生の授賞式は27日に行われました（別ページに紹介）。

※【在校生「亀山賞」受賞者一覧】

<検定合格の部> 春若 光貴 漢字検定3級 山崎 郁乃 漢字検定準2級 田中優理子 英語検定準2級 田村 未那 保育技術検定（言語表現）2級	<継続就労と学業両立の部> 島田 修宏 三上 遙 田村 未那 大庭 咲希
--	--



通信制 冬季集団研修（ボウリング）

2月20日（火）、第2回生徒総会と、在校生授賞式終了後、通信制冬季集団研修を行いました。

過去には2年間、スケート実習を実施していましたが、より生徒同士の交流と親睦を深めるための研修会とするため、生徒会役員を中心に協議した結果、今年は新たな試みとしてボウリング大会を実施することにしました。

「生徒会提案行事」としての位置づけではありませんが、事前に役員3名が集まり、ゲームのやり方の打ち合わせや景品購入など積極的に活動しました。

当日は生徒12名の参加があり、4名の先生方も加わって2ゲームを楽しみました。初めてボウリングを体験する人もいましたが、和気あいあいと生徒同士や教員との交流ができました。

今回は、個人戦1位～3位の表彰でしたが、役員からは来年度、さらにゲーム方法の工夫をして「生徒会提案行事」として実施したいとの声も聞かれました。

個人戦 優勝	森山 夏帆
個人戦 2位	砂田 みちる
個人戦 3位	飛田 駿也



テーブルマナー講習会

2月27日（火）授賞式終了後、ワシントンホテルに行き、テーブルマナー講習会を実施しました。卒業予定生4名が参加しました。

講師は、ワシントンホテルの黒柳総支配人です。フランス料理をコースでいただきながら相手への気遣いや配慮ができる人のふるまいについてお聞きしました。『会食をしている皆が楽しいひと時を過ごすための心配り』また、『料理やサービスを提供した人への感謝の気持ちの示し方』など、具体例をあげながら教えていただきました。参加した生徒たちは、「今後の人生のどこかで役に立つこと」「覚えておくと良いので、よい機会だった」という感想でした。

今後、様々な人と、会食をする機会があると思います。この経験を少しでも生かして社会人として常識ある振る舞いができるようになることを期待しています。



保健だより 3月号

例年のない寒さに、体調を崩した人もいないのでしょうか。

来年度を受講講座を決めて、新しい生活に思いをはせていることと思います。昨年度はできなかったことに何か挑戦してみましょう。なにはともあれ心身ともに「元気」であることが大切です。生活習慣を整えて、元気に新年度を迎えましょう！！



平成30年度健康診断の日程が決定しました♪

健康診断と同一日に歯科・眼科・耳鼻科の3つの検診も実施します。事前に予定を空けて学校で健診を受けるようにしましょう。

日 時： **平成30年5月29日（火）午後**

健診内容：眼科、歯科、耳鼻科、身長、体重、視力、聴力、尿、
診察、胸部X線・心電図（該当者のみ）

※学校で受けるといいことが！（^）！

- 健診費用は**無料**です。 • 特別活動にカウントされます。
- 眼科・耳鼻科・歯科検診も同時に受けることができます。

※各ルームの受付の時間等については、4月にご案内します。

学校でできない場合には、地域で実施される健康診断や病院で受けることとなります。

1年に1回、体のチェックをしましょう。



今できる！新学期の準備

あたたかくなってきました。新しい年度の準備をしましょう！

①時間を意識！

生活リズムを整えて体調を管理。起きる時間、食事の時間を決めていきましょう。

②片付ける！

いらない物は捨てて、整理整頓を。昨年度使った教科書の中には、今年度も使うものがあるかも？確認してね。

③計画をたてる！

計画ができれば半分できたも同じ。よく見るところにおいて動きましょう。



進路部より

平成29年度 進路状況

(平成30年3月5日現在)

	男	女	計
進学	1	5	6
就職	5	15	20
未定その他	2	0	2
計	8	20	28

主な進学・就職先

進学

島根県立大学、石見高等看護学院、広島ビューティーアート専門学院、大阪辻製菓専門学校 等

就職

広島パークヒル病院、デルターC&S、ALSOKあさひ播磨、森板金製作所 等

教務部より

在校生の皆さんへ

平成30年4月8日(日)に受講手続きを行います。

[持ってくるもの] (受講手続きの案内に記載してあります。)

- ・学校徴収金
- ・印鑑
- ・教科書無償申請書 (該当生徒のみ)
- ・委任状 (教科書無償申請者のみ)
- ・筆記用具 (黒または青のボールペン)

平成30年度の受講講座を決定する大切な日です。忘れ物がないよう、登校してください。なお、受講手続きは協力校の生徒の皆さんも本校(浜田高校)で実施します。

忘れずに持って

きましょう!!

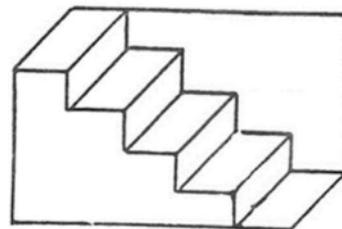


「学ぶことの意味」

～田中教頭先生より～

一年が終わりましたね。この1年、皆さんにとってどんな1年でしたか？今年度本校は、県内では初になりますが、半期（半年）での単位認定制度を導入しました。これは、皆さんが自分の学習成果を年度末まで待つことなく確認できることで、皆さんの学習意欲が継続し、向上することをねらった取組です。半年で単位が認定される科目をたくさん用意しましたので、今後の学習にうまく活用していただきたいと思います。

さて、私たちはものを見る時「目で見ると言いますが、実際はどうでしょうか？例えば右の階段の絵を見てください。そして、この絵を180度回転してみてください。文字はひっくり返るのに階段はひっくり返りません。なぜでしょうか？



実は、私たちの脳が見える形を勝手に加工するからなのです。つまり、私たちはものを見る時、実際は目で見るとはではなく脳で見ているのです。ですから、例えば複数の人間で何かを見ると、一人ひとりの脳が違いますから見える形も違ってきます。同じ物を見ていても脳に写る形は皆それぞれ違うのです。

このような見える形の変化は、一人の人間についても起こります。例えば、学ぶことでその人の脳が変わってくると、その人に見える世界も変わってきます。多く学べば学ぶほど、より多くの新しい世界が見えるようになってきます。そして、いろいろな世界が見えることで感動することも多くなり、毎日が楽しくなります。私は「学ぶことの意味」をこのように考えています。ぜひ、皆さんも学びを通して新しい世界を知り、自らの世界を広げていきましょう。

今年も春が来ました。先日、散歩をしていると波子の海岸でトビが小枝をくわえて飛んで行きました。巣作りの準備です。また、足下にはオオイヌノフグリの小さな花（右図）が青く輝いていました。新しい命が芽生える季節がやってきました。暖かい日差しに押されて、新しい一歩を切り出しましょう。



◇編集後記◇

昨年度の編集後記を書いてから早、1年。あっという間に過ぎてしまいました。今年度の亀山通信は皆さんのお役に立てたでしょうか？通信制での学びをより円滑に進めるために定期的に発行している亀山通信です。日々の学習にぜひ、役立ててください。来年度も浜田高校通信制を応援していただきますようお願い申し上げます。